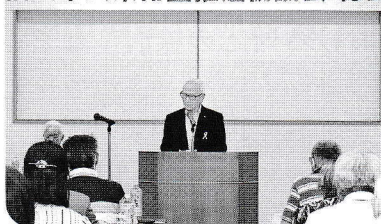


2025年度(令和7年度) 福山市公衆衛生推進協議会総会

福山市公衆衛生推進協議会 総会



6月5日(木)、福山市役所大会議室において福山市公衆衛生推進協議会総会が開催されました。各学区の代議員と理事及び受賞者、合わせて約100名が参加されました。

総会では園尾会長の挨拶の後、福山市公衆衛生推進協議会表彰規定に基づき、公衆衛生推進委員を7年以上継続し、かつ、公衆衛生活動に貢献した19名の方に、園尾会長から、感謝状が授与されました。(表彰者のお名前は3ページに掲載)

来賓を代表して、枝広直幹福山市長、高野孝行福山市自治会連合会副会長、一般財団法人広島県環境保健協会兼森裕理事長から挨拶をいただき、参加の行政職員の紹介の後、広島県環境保健協会(以下、環保協という)地域活動支援センターの中村博信センター長を紹介しました。

続いて議長に、蔵王学区藤井望常任理事を選出して議事に入りました。第1号議案令和6年度事業報告並びに事業会計収支決算・まちづくり基金決算及び監査報告について、第2号議案令和7年度活動目標(案)・事業計画(案)及び令和7年度事業会計収支予算(案)について、第3号議案令和6年度地区衛生組織資金募集(環境・健康募金)実績報告及び令和7年度計画(案)について、第4号議案役員選出(案)について、審議し原案通り承認・決定しました。総会後に、中村センター長に

による基礎研修「公衛協のはたしてきた役割とこれからの活動について」を学習しました。主な内容は①昭和20年代、県内各地に公衆衛生推進の組織が作られた。昭和32年、県内の公衆衛生組織が連携して取り組むため、広島県の連合組織(県衛連)が作られ、昭和35年に、活動資金募集(健康感謝募金)を始めて、全県共通メニューの取り組みを始めた。②県衛連は、当初は県庁内に事務局を置いていたが、運営資金の問題を確保する必要から、昭和38年に衛生検査センターを開設し、以後、現在の一般財団法人環境保健協会に発展した。③県内の各地域の公衆衛生活動の代表者が集まり、活動内容等を決めている。募金によって得られた資金のほか、環保協の行う収益事業から年間6000万円の基金の提供を受け、多くのメニューが用意されていて、各地域から要請を受けて、支援している。なお、活動メニュー等については、公衆衛生手帳を参照してください。

役員体制

会 長	園尾 俊昭	(道上)
副 会 長 (兼事務局長)	村田 政雄	(有磨)
副 会 長 (兼会計)	宮宗 弘光	(赤坂)
副 会 長	小林 乙也	(樹徳)
副 会 長	大和 智廣	(本郷)
副 会 長	渡壁 和則	(横島)
副 会 長	原 敬二	(大谷台)
監 事	甲斐 勝	(神辺)
監 事	土肥 健二	(緑丘)

目 次	
公衛協総会	1
役員体制	1
めざす取り組み	2
理事紹介	2
表彰者紹介	3
ブロック紹介等	3
第63回夏季大学	4
環保協の研修	4
募金のお礼	4
編集後記・広報委員	4



私たちのめざす取り組み

1 健康づくり

- フレイル予防の推進 ○特定検診・がん検診の啓発促進
- 歯と口腔から始める健康生活事業 ○健康ウォーキングへの参加 ○献血の推進
- 感染防止の徹底と新しい生活習慣の構築

2 環境保全

- ばらのまちづくりの推進 ○ごみの分別の徹底と資源再利用による減量化の推進
- 生活空間美観の確保（不法投棄抑止の地域づくり、「芦田川を守る日」一斉清掃）
- 食品ロス削減

3 地球温暖化防止活動

- 出前講座の推進 ○光熱費節約大作戦 ○地球温暖化防止推進委員の活動の充実

4 防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動

- 交流会・研修会等の開催 ○地域実態の調査 ○災害時における対応の検討 など

5 組織づくり

- 研修会の実施 ○地区衛生組織活動資金募集（環境・健康募金）の推進
- 機能リーダー育成（環境、健康、組織運営などのリーダー）
- 学（地）区公衆衛生推進委員会活動の研修・強化
- 人材育成研修会等研修会の開催・案内
- 諸会議の活性化と充実 ○広報紙の発行 など

6 その他

- 環境と健康のポスター・標語コンクール事業への参加 ○公衆衛生大会の開催
- 広島県環境保健協会事業への参加・協力 ○ICTの活用 など

各学（地）区会長（理事）紹介 敬称略

※◎はブロック長、○は常任理事

辻野 信也（東）	黒瀬 敏正（旭）	小林 邦弘（西）	田口 明則（南）
江草 孝昌（霞）	藤本 新一（多治米）	○小林 哲仁（川口）	猪木 勝久（川口東）
篠原 伸芳（曙）	小林 康喜（新涯）	佐藤 文男（箕島）	○金尾 富子（光）
○小林 乙也（樹徳）	中島 愛子（久松台）	○崎谷 哲雄（桜丘）	松井佐代子（西深津）
中野 真茂（深津）	◎野間 晴夫（手城）	本瓦公一郎（長浜）	横山 京子（引野）
岡崎 賢治（緑丘）	三吉 繁夫（旭丘）	○藤井 望（蔵王）	○岩井 信男（千田）
橋本 尚治（御幸）	関戸 博司（大津野）	大下 裕之（野々浜）	石川 隆（幕山）
◎原 敬二（大谷台）	坂本 邦夫（春日）	水島 誠（伊勢丘）	○松本 睦夫（坪生）
竹内 佳代（明王台）	○佐藤 和司（泉）	廣川 昭慶（山手）	杉ノ原泰則（津之郷）
○宮宗 弘光（赤坂）	水野 敏彦（瀬戸）	◎下村 恒司（熊野）	津田 要介（水呑）
占部 光利（高島）	島 富美男（鞆）	高橋 松美（走島）	○村田 政雄（有磨）
橘高 勇一（福相）	中土井一成（駅家）	中山 貴広（宜山）	児玉 章造（駅家西）
七川 哲也（服部）	谷本 節夫（駅家東）	○水谷 昌一（加茂）	佐藤 郁宏（広瀬）
笠原 一彦（山野）	馬屋原俊明（戸手）	◎平川 輝司（新市）	国光 正志（綱引）
○瀧口 誠（常金丸）	宮里 久繁（金江）	岡田 邦之（柳津）	○前市 正詔（松永）
平櫛 悟（今津）	浦上由紀子（高西）	大村 勝洋（東村）	◎大和 智廣（本郷）
○小林 英志（神村）	○兼田 邦洋（田島東部）	中村 悟（田島西部）	◎渡壁 和則（横島）
村上 行雄（山南）	三谷陽一郎（千年）	岡崎 瑞穂（つねいし）	寺岡 緑（能登原）
○高橋 健二（神辺）	西川 徹（御野）	小林 紀之（竹尋）	○高垣 励自（湯田）
山成 靖（中条）	◎園尾 俊昭（道上）		

（常任理事は各学区の理事からブロックごとの定数により選任されます。）